

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ <http://www.kenpoukaigi.gr.jp> FAX03-3261-5453

2026年4月13日(月)

NO. 1671号

本号3頁

憲法改正反対デモ、全国へ連帯の輪広がる 国会前には3万人

憲法改正の動きに反対する大規模デモが続いています。8日夜も20～40代の市民有志でつくる「WE WANT OUR FUTURE」と「憲法9条壊すな！ 実行委員会」の共催で「平和憲法を守るための緊急アクション」が開催され、国会前に約3万人が集まり、2月27日の約3600人、3月10日の約8600人、同25日の約2万4000人を上回る勢いです。国会前行動で若者、女性、弁護士らが発言。高市早苗首相ら改憲派が衆院で3分の2以上を占める戦後最大の憲法の危機の中、平和と自由を守るためいま声を上げようと呼びかけました。

この日は全国その他137カ所でも呼応する活動が開催され、全国で4万7千人が参加しました。

国会前の歩道を埋め尽くした幅広い年代の人々が、韓国の大統領退陣要求デモを参考にペンライトを振り、ドラムのリズムに合わせて「平和憲法 日本の宝」「改憲反対」などのコールをくり返しました。

第二ステージで、思想・良心の自由を訴え学校行事で君が代を起立斉唱しなかったとして処分された経験がある元教員や、平和活動に関わる人などが交代でスピーチ。権力者が憲法を守るべきだと訴えたり、憲法前文や9条を読み上げたりしました。



また、韓国の団体・民族問題研究所の金英丸（キムヨンファン）さんはスピーチで「米軍が日本と韓国の市民の命を守ってくれるのか。東アジアの平和を守ろう」と訴えました。

日本原水爆被害者団体協議会（被団協）代表委員の田中熙巳（てるみ）さんのメッセージを、ピースボート共同代表の畠山澄子さんが代読。「戦争をするなんてとんでもない。憲法は戦力を持たないと言っている。この盛り上がり全国に広めよう」などのメッセージを全員で復唱しました。

参加者たちは、軽快な音楽に合わせて踊りながら「高市総理は憲法守れ」「武力で平和はつukれない」などとコールを繰り返した。憲法の前文や9条などの条文も朗読しました。

プロ野球の福岡ソフトバンクホークスのペンライトを持っていた東京都の40代の女性は「家でゆっくりと野球が見られる平和な世界にしてほしい」と語りました。「憲法守ろう」と書いたライトを手にした東京都杉並区の会社員女性（50）は「改憲されると物が言えなくなる」と危機感を示しました。高市早苗首相が非核三原則の見直しを持論とすることや高市政権が武器輸出のルール緩和を目指していることを受け「徴兵制も現実味を帯び、家族が取られかねない」と憂えました。

47都道府県163カ所、約4万9000人

8日夜、国会前で行った「憲法を守るための緊急アクション」に3万人（主催者発表）が集まったほか、47都道府県163カ所、約4万9000人（インターネットサイト「デモカレンダー」9日集計）で連帯行動が開催されました。参加者が多彩なペンライトを振って「憲法守れ」と熱くコールしました。

全国の主要都市をはじめ各地の駅頭で数百～数千人が参加。各地の行動には、デモ初参加者や青年、仲間を誘って来た人が多く、大阪で2000人、札幌1400人、名古屋で1200人、福岡・天神で500人などに膨れ上がりました。東京都清瀬市では原田博美新市長が参加し、市民200人とともに声をあげました。X（旧ツイッター）で「#平和憲法を守る0408」がトレンド1位になり、国会前行動の動画を7万人が視聴しました。

JR長崎駅前であった抗議集会にはおよそ110人が参加しました。

衆院憲法審査会開催 7党出席し意見表明 自民は自衛隊が明記された憲法改正条文の起草を提起

衆議院の憲法審査会は9日、今国会で初めて実質審議を開き、与野党7党が意見表明。自民党は憲法改正条文起草の検討を提案しました。

与党筆頭理事を務める自民党の新藤義孝氏は、改正案として憲法9条への自衛隊明記など4項目を提示しました。自民党と日本維新の会は憲法改正原案を作成する「条文起草委員会」の設置を連立合意（昨年10月）に盛り込んでいます。

「憲法改正の論点が整理されたテーマは順次、条文を起草するための検討作業に入っていくことを提案したい」（新藤氏）

維新の馬場伸幸氏は同起草委員会の早期設置を主張。国民民主党の玉木雄一郎代表は、議員任期延長の条文作成に優先的に取り組むべきだと訴えました。

中道改革連合の国重徹筆頭幹事は「私たちは改憲、それ自体を目的とする立場には立ちません」と強調。その一方で「現行憲法を固定的にとらえ、時代や社会にともなう新たな課題に目をそらす立場にもくみしません。憲法施行時には、十分に想定されていなかった課題が明らかになり、その対応のために憲法改正が必要と認められるときには改正の内容を真摯に検討していきます」との考えを示しました。

自民党は今年2月の衆議院選挙で憲法改正の国会発議に必要な総定数3分の2以上の議席を確保。高市早苗首相は施政方針演説（2月）のなかで、党派を超えた改憲議論と国会発議の実現に向けて期待を表明しています。

日本共産党の田村智子委員長は会見で「高市首相が特別国会のなかでも改憲の議論を煽ることをやっているのは非常に問題です。内閣総理大臣が、国会での早期の改憲と、あるいはそのための発議をということと呼びかけることは三権分立にも反しています。断じて容認できないということも合わせて指摘しておきたいと思います」と語りました。

共産党畑野議員「条文案起草委員会強行、国民に改憲を押し付けものだ」と批判

日本共産党の畑野君枝議員は、憲法審査会は憲法改正原案を発議し、審査するのが任務で、「審査会での議論は改憲項目をすり合わせ発議することにつながる」「国民が改憲を求めている中、審査会を動かすべきではない」と主張。国会の側が改憲議論を喧伝（けんでん）し、国民の改憲機運を高めようとするのは本末転倒で、「条文案起草のための委員会をつくり議論を強行することは、国民に改憲を押し付けようというものだ」と批判しました。

また、8日に全国各地で改憲に反対するアクションが取り込まれ、3万人もの市民が国会を包囲するなど「いま国民から『憲法守れ』の声が上がっている」と指摘し、「いまこそ憲法9条の精神を生かすべきだ」と強調。米国やイスラエルによる無法な対イラン攻撃によって多くの子どもを含む罪のない民間人が犠牲になっていると訴え、「軍事力では絶対に争いごととは解決できない」「戦争を絶対に許してはならないという9条の精神に立脚した外交と政治が強く求められている」と強く主張しました。

古屋圭司会長 保守系団体「日本会議」国会議員懇談会で、 早期の憲法改正の発議に意欲を示す

衆院憲法審査会の古屋圭司会長（自民党）は9日、国会内で開かれた保守系団体「日本会議」の国会議員懇談会であいさつし、憲法改正の国民投票がこれまで実施されていないことは「国民が憲法改正に『賛成か、反対か』を主体的に意思表示する機会を奪っている。立法府の不作為だ」と述べた。その上で「憲法審で丁寧に速やかに集約していくのが私の責任だ」と述べ、早期の憲法改正の発議に意欲を示しました。

古屋氏は「私は行司役だ」とした上で、「自分が相撲を取るわけにはいかないが、立ち会って勝負をつける役でもある」とも述べました。自民と日本維新の会の連立与党は衆院で発議に必要な3分の2の議席を確保しており、条文化作業を進めるため条文起草委員会の設置を求めています。古屋氏の発言も、条文化作業への移行が念頭にあるとみられます。

「9条守れ」市民と野党共同アクション 7野党代表訴え 池袋

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(市民連合)は5日夜、東京・池袋駅前
で、市民と野党の共同アクション「NO WAR! YES 9条 ペンライト集会」を行いました。
2月22日に続く第2回。戦後最大の改憲の危機が迫るもと、色とりどりのペンライトと「戦争
反対」と書かれたボードを持った6000人の参加者(主催者発表)は「改憲反対」「みんなの力で政
治を変えよう」とコールしました。7野党の代表も参加。日本共産党からは田村智子委員長、小池
晃書記局長、山添拓政策委員長が参加。原田ひろみ東京・清瀬市長がスペシャルゲストとして登壇
しました。

主催者あいさつした市民連合の佐々木寛共同代表は「絶対に戦争しないと誓って憲法が生まれ
た。歴史をつくるのはいつも民衆。紛争を止めるのも民主主義による希望をつくるのも私たち。信
じられる未来をつくりましょう」と語りました。

市民連合の女性たちを中心とするフェミブリッジ東京の長尾詩子さんは絵本「戦争するの作り
方」の内容が、安保関連法が定めた集団的自衛権、スパイ防止法、防衛増税など今の国会情勢とリ
ンクしていると指摘。「日本が戦争する国、世界中の戦争を肯定する国になっていくことは許せま
せん。ともに戦争させない国をつくっていきましょう」と呼びかけました。ピースボード共同代表
の川崎哲さんが平和憲法と核兵器禁止条約を通じて核も戦争もない世界をつくること、全国一般労
働組合の東京南部委員長の中島由美子さんが反戦と労働組合について訴えました。

共産党の田村委員長は「市民の声が、戦争を止め、戦争にいかなる協力もさせない一番の力とな
る」と力を込め、「日本政府が戦争を終わらせる立場に明確にたつことを求めよう」「イラン攻撃を
もう終わらせようの声を一緒にあげよう」と呼び掛け、大きな拍手を受けました。

社会民主党の福島みずほ党首、新社会党の岡崎ひろみ委員長、中道改革連合の吉田はるみ前衆院
議員、れいわ新撰組の高井たかし副幹事長、緑の党グリーンズジャパンの漢人あきこ都議、生活者
ネットワークの岩永やす代都議がマイクを握りました。

スペシャルゲストとして原田博美清瀬市長が登壇。地域図書館だけでなく公共の役割が投げ捨て
られていると述べ、「人々の生活の困難に向き合わず、民意かすら離れた政治、憲法を無視した政
治は必ず間違った方向にいつてしまう。平和の裡に生きる権利を子どもたちに保障していく責任を
私は市長として果たしていきたい」と表明。すると、会場の参加者は「頑張れ!」とエールを送り
ました。

参院・衆院憲法審査会の傍聴を

今国会実質第一回目の参院憲法審査会開催

令和8年4月15日(水)(公報上)午前10時00分 第41委員会室(分館4階)

○参考人の出席要求に関する件

○日本国憲法及び日本国憲法に密接に関連する基本法制に関する調査

(憲法に対する考え方について)

・各会派の意見表明

(憲法に対する考え方について(参議院議員選挙における一票の較差))

・説明聴取 ・参考人の意見陳述 ・参考人に対する質疑

衆院憲法審査会も開催か

本日現在、衆院のホームページを見て参院憲法審査会開催の案内は掲載されていません。

しかし、先週の審査会を見ますと、木曜日(16日)に開催されると思われます。

監視・傍聴行動にご参加ください。

それで、傍聴希望される方は、参院の場合は前日火曜日(14日)の午後3時まで、そして、衆院の
場合は前日(15日)の午後3時まで、憲法会議(電話03-3261-9007 FAX03-3261-5453)までお伝えく
ださい。手続きを取ります。

お知らせ 憲法会議のホームページに衆参憲法審査会の委員名簿(FAX番号も記載)を掲載
してあります。ご活用ください。む